

- 表千家福岡県青年部
第四十回総会
- 博多祇園山笠協賛茶会

- 福岡県青年部
高取焼作陶教室

- 令和五年度秋季学生茶会

- 令和六年度
表千家福岡県青年部総会
- 博多祇園山笠協賛茶会
- 九州地区青年部連絡協議会
編集後記
- 入会のごあんない

部長挨拶

部長 井上 正治

この度の能登半島で被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。青年部でも6年前の平成30年になりますが、金沢へ研修旅行に訪れました。数々の美しい伝統工芸品を見し、また石川県青年部の皆さんと交流してきただけに心が痛みます。被災地の一日も早い復興を祈念申し上げます。

今年度は、五月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、青年部行事も制限なく執り行えた事にまずは安堵しております。行事の本格始動により、慌ただしくも青年部の仲間と集い、ご参加いただけた皆様に喜んでいただけると話し合いを重ね、無事に行事ができました事を感じたいです。とりわけ、十月に開催しました高取焼作陶教室は、久方ぶりの体験活動となりました。以前は、青年部の仲間とお茶やお道具に関わる様々な場所を訪れ、楽しい時間を過ごしていましたが、ここ数年は実現できていませんでした。それだけに、今回の作陶体験は感慨深いものがあり、また初めて青年部行事に参加してくださる会員の方もおられ、再開できた喜びも一入でございました。作陶体験では、鬼丸雪山窯元様に多大なるご協力を賜りました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

青年部のお茶会は、普段のお稽古の延長線上にあるものと考え、お点前や半東などを二人でも多くの会員に経験していただけるよう心がけております。また、同年代の横の繋がりが作れますのも青年部の魅力だと思います。

来期も一つ一つの行事を大切に、青年部らしく元気に活動してまいります。先生方におかれましては、今後も青年部活動へのご理解とご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。



行事報告

◆表千家福岡県青年部

第四十回総会

*日時 令和五年六月十八日(日)
*場所 直方歳時館

庭園の紫陽花が色鮮やかに咲く直方歳時館にて、表千家福岡県青年部第四十回総会を開催し、青年部会員、先生方の計二十三名の方々にご参会いただきました。

総会では、ご来賓の長秀俊様、吉富弘道様よりご挨拶を頂戴いたしました。続いて青年部より、令和三年度及び四年度事業報告・決算報告・監査報告が行われました。次に、第十五期役員をご承認いただき、あわせて令和五年度事業発案・予算案を発表し承諾を得ました。

梅雨時の晴れ間という天気にも恵まれ、コロナ禍による行動制限も緩和し、どこか清々しい気持ちで総会に臨むことができました。総会後のお茶席では、大変和やかな雰囲気でも、楽しい一時をご参会の皆様と共有できたことを嬉しく思います。また、青年部の先輩方が温かく見守り、分からないときには丁寧にご教壇をいただき、楽しくも学びの多い時間となりました。私事で



竹下 杏奈

楽しみにご来会いただきました皆様、そしていつも青年部の活動を温かく応援して下さいる先生方に心より感謝申し上げます。

はございますが、社会人になって初めて茶道に触れまだまだ勉強不足のなか、良い機会だからと青年部の入会を勧めてくださった先生、背中を押してくださった社中の先輩方への感謝を改めて感じました。表千家福岡県青年部の四十回目の総会という節目に携わり、支えてこられた諸先輩方のご尽力があつて今日の日を迎えることができたのだと感慨深く思いました。次の節目へ繋げられるよう、日々のお稽古に精進したいと思います。

山里 美帆



◆博多祇園山笠協賛茶会

*日時 令和五年七月十三日(木)
*場所 櫛田神社境内

薄茶席

令和五年七月十三日、櫛田神社境内にて博多祇園山笠協賛茶会を開催しました。今年は猛烈な暑さにも関わらず、百二十名を超えるお客様がご参会くださいました。

コロナ禍以降、感染症対策も重要な事案となっておりますが、「どのようになればお茶室でお客様に気持ちよく過ごして頂けるか」ということを青年部員全員が共通目標として、これまでに先輩たちが築き上げてこられた伝統を重んじつつ、会の進行やお出しするお菓子について試行錯誤いたしました。櫛田神社の御紋を焼印した祇園饅頭を銘々皿に乗せてお出しすると、懐かしむお声や「暑預がとて美味しかったよ」などお褒めの言葉をかけていただき嬉しく思いました。

新しい環境に対応するため、部員の懸命な様子が非常に印象的であり、そのひたむきな姿勢は青年部に入会して間もない身の私にとって学ぶところが多く勉強になりました。

今後も青年部活動を通して、多くの方に喜んでいただけるおもてなしが出来るよう、その一人として成長して参りたいと思います。

最後になりましたが、櫛田神社様、山笠茶会を

心太席

心太席では、博多名物の「おきゅうと」に麦茶を添えてお出ししました。

当日は雨予報でしたが、天候にも恵まれて清々しい快晴の下、涼しげな青楓の氷柱と共にお客様をお出迎えすることができ、お客様から「暑い中お疲れ様」、「浴衣が素敵ね」、「初めて食べたけど美味しいね」などとお声を掛けていただき、おもてなしをする側として深く喜びを感じる事ができました。

そして、お茶室とはまた一味違った空間がとても新鮮で、お客様と直接お話ししたり、お客様の笑顔を拝見することができ、改めて茶道が持っている偉大な力を感じ、胸の中が熱くなりました。

参加する前は、しっかりとおもてなしをすることが出来るのだろうか。先輩方の迷惑にならないだろうか。心配をしていたのですが、先輩方のご指導もあり笑顔で終えることができました。

今回、青年部の行事に初めて参加させていただきましたが、先輩方の後姿を拝見し、なんとも言葉では言い表すことが出来ないほど、素敵な刺激をたくさん頂きました。いつか先輩方のようになれるよう、おもてなしの心をつつ学んでいき、これからも精進して参りたいと感じた一日となりました。最後に、猛暑の中多くのお客様にご参会いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

吉田 梨菜



◆福岡県青年部

◆高取焼作陶教室◆

*日時 令和五年十月十四日(土)
*場所 高取焼鬼丸雪山窯元
(朝倉郡東峰村大字小石原)

清々しい秋の風が吹く頃、高取焼鬼丸雪山窯元に「高取焼作陶教室」を開催し、約四十名の方にご参加いただきました。

講師の二代目鬼丸碧山様に、高取焼の器の特徴などをご教授頂いた後、早速お茶碗の成形と絵付け体験に移りました。普段触れる機会のない粘土と格闘しながら、手びねりでの成形にチャレンジしました。皆で同じ土を使ったお茶碗作りですが、出来上がった作品は、形や大きさ、高台の作りも様々でまさに世界で二つだけのオリジナル茶碗となりました。また、絵付け体験では、予めご準備頂いた茶碗に思い思いの絵を描きましたが、頭の中でイメージしたものを描くのは難しく、改めて陶工の皆様の熟練した技術に感嘆致しました。

昼食は、小石原集落内の「やまめ山荘」に足を運び、新鮮なヤマメを使ったコース料理に舌鼓を打ちました。江戸時代の古民家で塩焼きや甘露煮、刺身など、ヤマメを存分に堪能したのち、再び鬼丸雪山窯に戻り、碧山さん自作の高取焼スピーカーで音楽鑑賞という贅沢な時間を過ごしました。

今回、お茶器にとどまらない高取焼の魅力を垣間見ることができました。青年部の企画にご賛同頂き、多大なるご協力を賜りました鬼丸雪山様、窯元の皆様に感謝申し上げます。

是成 裕太



◆令和五年度秋季学生茶会◆

*日時 令和五年十二月三日(日)
*場所 表千家九州茶道館

師走の初め、「秋季学生茶会」にて副席を担当しました。

当日は、心配していた天気にも恵まれ、総勢三百六十九名の学生及び指導者の方々にお越しいただきました。参加される学生の方々に、何か一つでも思い出に残る茶会になって欲しいと思ひ、準備を進めてまいりました。お軸、お花、お菓子、お道具の取り合わせ等々、青年部の想いが詰まったお席を感じていただけたら嬉しく思います。

私自身、毎回お茶席のお手伝いをさせて頂く際は、「楽しみながら」を心がけて取り組んでおります。歴史ある九州茶道館のお茶室で、緊張されている学生の姿が初々しく、初めてお茶会に参加した時の自分と重なり、懐かしくもありました。このお茶会での経験が、参加された学生の方々にとって、今後のお稽古や人生の一コマにお役立て頂ければ幸いに存じます。

最後に、副席のお軸より「先今年無事芽出度千秋楽」読み方「まずは、こんねんぶじ、めでたくせんしゅうらく」解釈「平穩無事に一年を終えることが出来ためでたしめでたし」

平穩無事を願いつつ、本年最後の青年部の活動が無事に終わりました事、学校茶道指導者の先

生方初め、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

松尾 ひとみ



LINE 公式アカウント

＼はじめました！／

表千家福岡県青年部会員用公式アカウントでは、お茶会や青年部のイベントをご案内しております。

表千家福岡県青年部より「つわぶき」友達募集中

友達追加はコチラ▶



◆ 令和六年度

表千家福岡県青年部

◆ 総会 ◆

【日時】 令和六年五月下旬
【場所】 筑豊地区

◆ 博多祇園山笠協賛茶会 ◆

【日時】 令和六年七月十三日（土）
【場所】 櫛田神社

◆ 九州地区

◆ 青年部連絡協議会 ◆

【日時】 令和六年八月下旬
【場所】 北九州地区



《編集後記》

昨年はお茶会の機会も増えて賑やかな一年となりました。私事ですが、本年度から編集に携わらせて頂いております。一会員として読んでおりました「たより」が様々な方の協力により、そして行事ごとに積み重ねられる資料を元に作成され、皆様のお手元にお届け出来ているという事を実感し、大変勉強にもなる作業でした。今年も辰年です。竜頭蛇尾に終わることなく、また画竜点睛を欠くことなく、持てる力を存分に発揮して、飛躍する一年にしていきたいです。

橋本 悠



「あなたも青年部に入会しませんか」

青年部入会の資格は、表千家茶道のお稽古をし「入門」の免状を取得している十八歳から四十五歳までの方で、先生の推薦があればどなたでもご入会いただけます。

青年部会員になると「青年部たより」や随時事業案内等をお届けいたします。また、青年部主催行事に会員割引で優先的に参加することができます。年会費は二千元です。

【申込方法】 左記枠内の要領をはぎに「ご記入のうえ、表千家同門会福岡県支部事務所内青年部宛にお送りください。折り返し、入会申込書をお届けいたします。

【送り先】 〒八二〇〇〇〇一

福岡市中央区天神四―一―三六

天神第一ビル二階

表千家同門会事務所内 青年部宛



青年部
入会希望

1. ご住所
2. 氏名
3. 生年月日
4. 電話番号
5. 指導者指名